



## 財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位：円)

社会福祉法人ほどがや

資産・負債の内訳		内訳	金額
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	レジ現金	31,820	31,820
預金	信用金庫	32,038,260	
	信用金庫	8,454,958	
	信用金庫	11,072,502	
	信用金庫	5,467,163	
	銀行	108,122	
	信用金庫	4,671,975	
	信用金庫	2,586,235	
	信用金庫	17,100,000	
	信用金庫	3,600,000	85,099,215
未収金	介護給付費（国保連請求分）	32,933,794	
	利用者負担金	1,695,437	
	その他（ご利用者作業工賃他）	195,379	34,824,610
貯蔵品	郵券	9,030	
	クオカード	66,960	75,990
前払金	25年度労働保険概算	2,653,978	
	賃借料（各外部事業所建物・駐車場等）	1,051,581	3,705,559
流動資産合計			123,737,194
2 固定資産			
(1) 基本財産			
建物		312,392,942	312,392,942
基本財産合計			312,392,942
(2) その他の固定資産			
建物		6,064,950	
機械及び装置		140,174	
車両運搬具		596,383	
器具及び備品		5,031,338	
水道施設利用権		1,747,524	
ソフトウェア		722,750	
市社協年金共済		11,580,955	
保証金等		4,330,000	30,214,074
その他の固定資産合計			30,214,074
固定資産合計			342,607,016
資産の部合計			466,344,210
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	横浜市（戻入金関係）	918,000	
	横浜市社協年金共済掛金	410,130	
	本人支給金	121,040	
	消費税	156,200	
	委託先業者関係	4,663,829	6,269,199
預り金	源泉所得税	226,941	
	市県民税	444,400	
	雇用保険	846,527	1,517,868
賞与引当金		11,400,000	11,400,000
流動負債合計			19,187,067
2 固定負債			
退職給与引当金		11,580,955	11,580,955
固定負債合計			11,580,955
負債の部合計			30,768,022
差引純資産			0
差引純資産			435,576,188

上記原本と相違ない  
社会福祉法人ほどがや  
理事長 吉田昌美

### 事業活動収支計算書

(自) 平成25年 4月 1日 (至) 平成26年 3月31日

第3号様式  
(単位: 円)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減
事業収入	0207 自立支援費等収入	149,417,453	146,415,100	3,002,353
	5561 介護給付費収入	128,498,329	127,508,684	989,645
	5564 計画相談支援給付費収入	447,720	0	447,720
	5566 障害児相談支援給付費収入	34,304	0	34,304
	5567 地域生活支援サービス費収入	15,616,840	13,989,362	1,627,478
	5568 利用者負担金収入	4,820,260	4,917,054	△96,794
	0066 利用料収入	3,529,845	8,700,480	△5,170,635
	5122 利用者負担金収入	3,529,845	8,700,480	△5,170,635
	0074 児童福祉事業収入	69,645,412	31,332,900	38,312,512
	0075 その他の事業収入	69,645,412	31,332,900	38,312,512
	5241 障害児通所支援事業収入	69,441,912	31,313,180	38,128,732
	5243 利用者負担金収入	203,500	19,720	183,780
	0076 経常経費補助金収入	60,803,660	74,395,400	△13,591,740
	5311 経常経費補助金収入	60,803,660	74,395,400	△13,591,740
	0211 補助事業等収入	40,980,500	39,537,522	1,442,978
	0212 補助事業等収入	40,980,500	39,537,522	1,442,978
	5572 受託事業収入	40,980,500	39,537,522	1,442,978
	0078 寄附金収入	122,000	87,000	35,000
	5321 寄附金収入	122,000	87,000	35,000
	0080 雑収入	7,711,739	6,404,686	1,307,053
	5411 雑収入	7,711,739	6,404,686	1,307,053
	0082 借入金元金償還補助金収入	28,980,000	28,980,000	0
	5511 借入金元金償還補助金収入	28,980,000	28,980,000	0
	0084 引当金戻入収入	10,482,640	970,960	9,511,680
	5522 退職給与引当金戻入収入	682,640	970,960	△288,320
5523 賞与引当金戻入収入	9,800,000	0	9,800,000	
0086 国庫補助金等特別積立金取崩額	12,119,304	12,069,304	50,000	
5531 国庫補助金等特別積立金取崩額	12,119,304	12,069,304	50,000	
事業活動収入計(1)		383,792,553	348,893,352	34,899,201
事業支出	0031 人件費支出	230,943,569	212,648,474	18,295,095
	4111 役員報酬	3,869,490	3,389,930	479,560
	4112 職員俸給	80,300,821	72,817,200	7,483,621
	4113 職員諸手当	56,079,313	51,249,128	4,830,185
	4114 非常勤職員給与	63,190,340	60,651,968	2,538,372
	4115 退職金	859,487	340,238	519,249
	4116 退職共済掛金	1,877,400	1,698,600	178,800
	4117 法定福利費	24,766,718	22,501,410	2,265,308
	0033 事務費支出	41,124,748	39,838,349	1,286,399
	4211 福利厚生費	966,525	859,948	106,577
	4212 旅費交通費	884,820	714,714	170,106
	4213 研修費	95,473	134,429	△38,956
	4214 消耗品費	2,395,909	1,960,832	435,077
	4215 器具什器費	1,498,645	1,113,697	384,948
	4216 印刷製本費	997,045	1,044,811	△47,766
	4217 水道光熱費	3,378,503	3,111,263	267,240
	4218 燃料費	205,933	221,613	△15,680
	4219 修繕費	1,726,058	1,931,263	△205,205
	4221 通信運搬費	2,333,552	2,407,680	△74,128
	4222 会議費	124,858	86,312	38,546
	4223 広報費	41,900	776,325	△734,425
	4224 業務委託費	17,977,060	18,184,869	△207,809
	4225 手数料	477,550	245,795	231,755
	4226 損害保険料	3,053,180	3,127,860	△74,680
	4227 賃借料	2,249,027	2,279,638	△30,611
4228 租税公課	1,679,900	171,000	1,508,900	
4229 雑費	1,038,810	1,466,300	△427,490	
0035 事業費支出	31,504,873	32,394,206	△889,333	
4311 給食費	9,937,552	9,661,050	276,502	
4312 保健衛生費	247,287	280,362	△33,075	
4314 教養娯楽費	372,956	653,286	△280,330	

## 事業活動収支計算書

(自) 平成25年 4月 1日 (至) 平成26年 3月31日

第3号様式  
(単位: 円)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減	
出	4315 日用品費	14,724	2,463	12,261	
	4316 保育材料費	9,580	31,099	△21,519	
	4317 本人支給金	894,220	1,008,254	△114,034	
	4318 水道光熱費	4,572,199	4,319,946	252,253	
	4319 燃料費	2,636,920	2,632,252	4,668	
	4321 消耗品費	550,935	747,996	△197,061	
	4322 器具什器費	357,846	506,659	△148,813	
	4323 賃借料	9,132,400	10,086,600	△954,200	
	4324 教育指導費	1,101,184	993,894	107,290	
	4328 雑費	1,677,070	1,470,345	206,725	
	0037 減価償却費	19,235,953	20,211,276	△975,323	
	4411 減価償却費	19,235,953	20,211,276	△975,323	
	0041 引当金繰入	14,414,110	12,123,785	2,290,325	
	4511 退職給与引当金繰入	3,014,110	2,323,785	690,325	
	4513 賞与引当金繰入	11,400,000	9,800,000	1,600,000	
事業活動支出計(2)		337,223,253	317,216,090	20,007,163	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)		46,569,300	31,677,262	14,892,038	
事業活動外収入の部	0091 受取利息配当金収入	15,647	13,551	2,096	
	5621 受取利息配当金収入	15,647	13,551	2,096	
	0095 経理区分間繰入金収入	25,496,432	43,286,524	△17,790,092	
	5721 経理区分間繰入金収入	25,496,432	43,286,524	△17,790,092	
	事業活動外収入計(4)		25,512,079	43,300,075	△17,787,996
	事業活動外支出の部	0046 経理区分間繰入金支出	25,496,432	43,286,524	△17,790,092
4621 経理区分間繰入金支出		25,496,432	43,286,524	△17,790,092	
事業活動外支出計(5)		25,496,432	43,286,524	△17,790,092	
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)		15,647	13,551	2,096	
経常収支差額(7)=(3)+(6)		46,584,947	31,690,813	14,894,134	
特別収支の部	0102 施設整備等補助金収入	0	3,600,000	△3,600,000	
	5911 施設整備補助金収入	0	3,600,000	△3,600,000	
	0108 国庫補助金等特別積立金取崩額	65,079,427	0	65,079,427	
	5941 国庫補助金等特別積立金取崩額	65,079,427	0	65,079,427	
	特別収入計(8)		65,079,427	3,600,000	61,479,427
	特別支出の部	0057 国庫補助金等特別積立金積立額	28,980,000	32,580,000	△3,600,000
4921 国庫補助金等特別積立金積立額		28,980,000	32,580,000	△3,600,000	
特別支出計(9)		28,980,000	32,580,000	△3,600,000	
特別収支差額(10)=(8)-(9)		36,099,427	△28,980,000	65,079,427	
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)		82,684,374	2,710,813	79,973,561	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)		16,923,675	14,212,862	2,710,813
	当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)		99,608,049	16,923,675	82,684,374
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	基本金組入額(15)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(16)		0	0	0
	その他の積立金積立額(17)		0	0	0
	次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)		99,608,049	16,923,675	82,684,374

## 資金収支計算書

(自) 平成25年 4月 1日 (至) 平成26年 3月31日

第1号様式  
(単位: 円)

勘定科目		予算	決算	差異	
経常収入	自立支援費等収入	149,960,000	149,417,453	542,547	
	介護給付費収入	130,000,000	128,498,329	1,501,671	
	計画相談支援給付費収入	0	447,720	△447,720	
	障害児相談支援給付費収入	0	34,304	△34,304	
	地域生活支援サービス費収入	15,430,000	15,616,840	△186,840	
	利用者負担金収入	4,530,000	4,820,260	△290,260	
	利用料収入	4,000,000	3,529,845	470,155	
	利用者負担金収入	4,000,000	3,529,845	470,155	
	児童福祉事業収入	70,220,000	69,645,412	574,588	
	その他の事業収入	70,220,000	69,645,412	574,588	
	障害児通所支援事業収入	70,000,000	69,441,912	558,088	
	利用者負担金収入	220,000	203,500	16,500	
	経常経費補助金収入	61,721,660	60,803,660	918,000	
	経常経費補助金収入	61,721,660	60,803,660	918,000	
	補助事業等収入	40,980,500	40,980,500	0	
	補助事業収入	40,980,500	40,980,500	0	
	受託事業収入	40,980,500	40,980,500	0	
	寄附金収入	100,000	122,000	△22,000	
	寄附金収入	100,000	122,000	△22,000	
	活動収入	雑収入	8,698,000	7,063,917	1,634,083
雑収入		8,698,000	7,063,917	1,634,083	
受取利息配当金収入		0	15,647	△15,647	
受取利息配当金収入		0	15,647	△15,647	
経理区分間繰入金収入		25,500,000	25,496,432	3,568	
経理区分間繰入金収入		25,500,000	25,496,432	3,568	
経常収入計(1)		361,180,160	357,074,866	4,105,294	
活動に要する支出		人件費支出	241,263,000	230,084,082	11,178,918
		役員報酬	3,840,000	3,869,490	△29,490
		職員俸給	83,340,000	80,300,821	3,039,179
	職員諸手当	59,900,000	56,079,313	3,820,687	
	非常勤職員給与	67,078,000	63,190,340	3,887,660	
	退職共済掛金	2,235,000	1,877,400	357,600	
	法定福利費	24,870,000	24,766,718	103,282	
	事務費支出	44,440,160	43,667,883	772,277	
	福利厚生費	1,235,000	966,525	268,475	
	旅費交通費	794,000	884,820	△90,820	
	研修費	146,000	95,473	50,527	
	消耗品費	1,800,000	2,395,909	△595,909	
	器具什器費	1,016,000	1,498,645	△482,645	
	印刷製本費	1,496,000	997,045	498,955	
	水道光熱費	3,040,000	3,378,503	△338,503	
	燃料費	206,000	205,933	67	
	修繕費	1,700,000	1,726,058	△26,058	
	通信運搬費	2,401,000	2,333,552	67,448	
	会議費	111,000	124,858	△13,858	
	広報費	828,000	41,900	786,100	
	業務委託費	18,656,000	17,977,060	678,940	
	手数料	774,000	477,550	296,450	
	損害保険料	3,292,000	3,053,180	238,820	
	賃借料	2,227,000	2,249,027	△22,027	
	租税公課	1,249,500	1,679,900	△430,400	
雑費	3,468,660	3,581,945	△113,285		
事業費支出	34,465,000	31,504,873	2,960,127		

### 資金収支計算書

(自) 平成25年 4月 1日 (至) 平成26年 3月31日

第1号様式  
(単位: 円)

勘定科目		予算	決算	差異	
支 出	給食費	9,748,000	9,937,552	△189,552	
	保健衛生費	336,000	247,287	88,713	
	教養娯楽費	692,000	372,956	319,044	
	日用品費	42,000	14,724	27,276	
	保育材料費	30,000	9,580	20,420	
	本人支給金	780,000	894,220	△114,220	
	水道光熱費	5,000,000	4,572,199	427,801	
	燃料費	2,520,000	2,636,920	△116,920	
	消耗品費	492,000	550,935	△58,935	
	器具什器費	538,000	357,846	180,154	
	賃借料	11,144,000	9,132,400	2,011,600	
	教育指導費	1,114,000	1,101,184	12,816	
	雑費	2,029,000	1,677,070	351,930	
	経理区分間繰入金支出	25,500,000	25,496,432	3,568	
	経理区分間繰入金支出	25,500,000	25,496,432	3,568	
経常支出計(2)	345,668,160	330,753,270	14,914,890		
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		15,512,000	26,321,596	△10,809,596	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支 出	固定資産取得支出	0	735,000	△735,000
		ソフトウェア取得支出	0	735,000	△735,000
	施設整備等支出計(5)	0	735,000	△735,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		0	△735,000	735,000	
財務活動による収支	収入	借入金元金償還補助金収入	28,980,000	28,980,000	0
		借入金元金償還補助金収入	28,980,000	28,980,000	0
		財務収入計(7)	28,980,000	28,980,000	0
	支 出	借入金元金償還金支出	28,980,000	28,980,000	0
		設備資金借入金償還金支出	28,980,000	28,980,000	0
		財務支出計(8)	28,980,000	28,980,000	0
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		0	0	0
予備費(10)		0		0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		15,512,000	25,586,596	△10,074,596	
前期末支払資金残高(12)		90,363,531	90,363,531	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		105,875,531	115,950,127	△10,074,596	

## 監事監査報告書

社会福祉法人ほ도가や  
理事長 吉田 昌美 殿

私たち監事は、社会福祉法第 40 条及び関係法令に基づき社会福祉法人ほ도가やの平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの事業年度の事業報告書及び決算報告書について監査いたしました。

この監査結果について次のとおり報告いたします。

- 1 事業報告書は、関連する法令及び通知に従い、当法人の事業の執行状況を正しく示し不正の点はないと認めます。
- 2 財産目録は、関連する法令及び通知に従い、当法人の財産を正しく示し不正の点はないと認めます。
- 3 貸借対照表は、関連する法令及び通知に従い、当法人の資産と負債の状況を正しく示し不正の点はないと認めます。
- 4 資金収支報告書及び事業活動収支報告書は、関連する法令及び通知に従い、当法人の収入と支出の状況を正しく示し、不正の点はないと認めます。

監査日時 平成 26 年 5 月 15 日 (木) 15 時～17 時

監査場所 ほ도가や地域活動ホームゆめ ボランティアコーナー

平成 26 年 5 月 15 日

監 事

大橋 賢 司



監 事

吉田 昌美



平成25年度

## 社会福祉法人ほどがや事業報告

ほどがや地域活動ホームゆめ

放課後等デイサービス事業ゆめっこくらぶ

放課後等デイサービス事業ゆめっこつか

放課後等デイサービス事業ゆめキッズほどがや

横浜市移動支援事業ゆめヘルプステーション

障がい者後見的支援事業ほどがやゆめあん



■施設の概要■

□住所□ 横浜市保土ヶ谷区神戸町140番2

□電話□ 045-340-3360 ファクス 045-334-0462

※その他、関連事業所の連絡先は、別途記載

□規模□ 敷地面積:1,276 m<sup>2</sup>/建築面積:821 m<sup>2</sup>/駐車場部分:455 m<sup>2</sup>1階:  
754 m<sup>2</sup>/2階:664 m<sup>2</sup>/3階:277 m<sup>2</sup>/地下:55 m<sup>2</sup>

延べ床面積 1,750 m<sup>2</sup>

■事業の経緯■

年月日	内容/背景	備考
平成16年2月25日	社会福祉法人ほどがや設立 代表 理事長 吉田 昌美	※法人の誕生日
平成16年10月1日	ほどがや地域活動ホームゆめ 相談事業開始 保土ヶ谷神戸町 140-2 Tel333-8611	※活動ホームゆめの誕生日
平成16年11月1日	ほどがや地域活動ホームゆめ(全事業開始) 知的障害者デイサービス事業 定員20名 身体障害者デイサービス事業 定員20名 生活支援事業 一時ケア(5名程度)/ショートステイ(4床) おもちゃ文庫、余暇支援、地域交流事業他 保土ヶ谷神戸町 140-2 Tel340-3360	
平成18年4月1日	(支援費制度に伴い) 指定障害者デイサービス事業定員40名	知的・身体 デイサービス事 業より変更
平成18年10月1日	(障害者自立支援法に伴い) 経過的デイサービス事業 定員40名	障害者デイサ ービス事業よ り変更
平成19年4月1日	(障害者自立支援法へ移行に伴い) 指定相談支援事業 指定生活介護事業 定員40名 地域活動支援センター(デイサービス型)定員10名	※1:その他、 災害備蓄、運 営委員会

	<p>生活支援事業</p> <p>一時ケア(5名程度)／ショートステイ事業(4床)</p> <p>おもちゃ文庫、余暇支援、地域交流等※1</p> <p>区づくり事業 (保土ヶ谷区障害者地域支えあい連携推進事業)</p> <p>保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業</p> <p>保土ヶ谷区人材育成事業※2</p> <p>重心ケア研修／ケアマネジメント研修</p> <p>社会福祉法人型地域活動ホーム型自主事業</p> <p>一時ケア定期送迎事業(保土ヶ谷養護学校便等)</p>	※2:事業の内容は年度ごとに変わる
平成20年8月18日	<p>障害児放課後預かり</p> <p>ゆめっこくらぶ試行事業開始</p>	プレ自主事業
平成20年10月1日	<p>横浜市障害児居場所づくり事業決定</p> <p>ゆめっこくらぶ定員10人未満型事業開始</p> <p>保土ヶ谷区天王町 1-11-1 ダイヤビル 3F4FTel334-5208</p>	
平成21年10月1日	<p>横浜市移動支援(ガイドヘルプ)事業</p> <p>ゆめヘルプステーション事業開始</p> <p>保土ヶ谷区神戸町 140-2 Tel340-3360</p>	
平成22年3月1日	<p>横浜市障害児居場所づくり事業決定</p> <p>ゆめことつか定員10人未満型事業開始</p> <p>戸塚区品濃町 510-4 ネオポリストキワ 8 Tel824-0670</p>	
平成22年5月1日	<p>児童デイサービス(多機能型児童デイⅡ)事業認可</p> <p>ゆめキッズほどがや10人未満型事業開始</p> <p>保土ヶ谷区峰岡町 3-332 パレットビル 1F Tel336-9192</p>	
平成22年10月1日	<p>横浜市障害者後見的支援事業</p> <p>障がい者後見的支援室ほどがやゆめあん</p> <p>保土ヶ谷区星川2丁目1-1 Tel 331-9537</p>	
平成24年10月1日	<p>障害児居場所事業所ゆめことつかを放課後型デイサービス事業に移行(定員10人)</p>	

平成25年4月1日	障害児居場所事業所ゆめっこくらぶを放課後型デイサービス事業に移行(定員 10 人)	
-----------	---	--

■職員の体制■

(平成 26 年 4 月 1 日時点)

雇用形態内訳	数	備 考(資格など)
常勤	33	社会福祉士、介護福祉士、保育士、社会福祉主事など
非常勤(日給制)	7	看護師、介護福祉士、ヘルパー2級など
非常勤(時給制)	36	看護師、ヘルパー2級、教員免許所持者など
総計	76	

# 1 相談支援事業

## 1-1 登録状況について

### ① 住区別登録状況

(平成26年3月31日現在)

	保土ヶ谷	旭	戸塚	西	神奈川	南	泉	瀬谷	その他	合計
25年3月	575	120	72	48	33	26	15	13	39	941
26年3月	611	124	78	51	34	26	15	13	39	991
新規数	36	4	6	3	1	0	0	0	0	50
新規%	72	8	12	6	2	0	0	0	0	100
全体%	62	13	8	5	3	3	1	1	4	100

ゆめの登録者は約1,000人となりましたが、平成25年度は登録件数が月平均4.5件と少なかったです。特に他区からの問い合わせが殆どありませんでした。

### ② 年齢別登録状況

(平成26年3月31日現在)

	18歳未満男	18歳未満女	18歳以上男	18歳以上女	合計
25年3月	350	200	225	166	941
26年3月	371	207	239	174	991
新規数	21	7	14	8	50
新規%	42	14	28	16	100
全体%	37	21	24	18	100

平成25年度の登録状況を年齢別で見ますと児童、成人ともほぼ同等ですが、男女比で見ますと男性の登録者が約7割となっています。

## 1-2 相談件数について

### ① 談経路別件数

(平成26年3月31日現在)

	来所相談	訪問相談	電話相談	同行	合計
相談合計	141	109	113	120	483
全体%	29	23	23	25	100

相談件数は来所相談が一番多いですが、その次に同行が多い状況となっています。主な同行は通院で家族だけでは通院が難しい場合など家族支援が必要なケースが増えてきました。

③ 障害種別 ※主たる障害でカウント (平成26年3月31日現在)

	身体	知的	精神	発達障害等	申請中他
相談合計	123	280	45	25	10
全体%	26	58	9	5	2

障害種別で見ると知的障害の方が多いですが、手帳を持たない発達障害と言われる方の支援者からの相談が増えてきました。

④ 相談内訳 (平成26年3月31日現在)

	就 労 相 談	権 利 擁 護 ・ 緊 急 登 録	視 覚 障 害 者 支 援	自 施 設 相 談	ピ ア カ ン	家 族 ・ 健 康	経 済 ・ 金 銭	趣 味 ・ 余 暇	そ の 他	社 会 資 源	関 係 調 整
相談合計	13	0	0	342	0	106	3	1	23	156	269
全体%	1	0	0	37	0	12	1	1	2	17	29

相談の内訳は、ゆめの登録者が多い状況です。ただ、こども部会を通じて児童の社会資源に繋げる相談も少しずつ増えてきました。

■相談支援事業についてのまとめ■

平成25年度は年間を通して登録件数が少なかった年です。また長年関わってきたケースが転居に伴い相談が終了したものがありません。その方は障害受容されていない方で、本人への関わり方や障害受容してもらう為、多くの機関と連携を図りました。しかしなかなか受け入れて貰えず、支援者の想いだけで最終的には何が出来たのだろうかと考えさせられた事がありました。

今回の事で改めて本人に寄り添う事の重要性を感じました。

他には自立支援協議会を通して、様々な事業所(学校、病院、高齢者施設など)と交流を図る事が出来ました。

1-3 相談支援関連事業について

○保土ヶ谷区障害者地域支えあい連携推進事業

実施日	参加者	内容
7/10	46 名	「障害のある方の生活を支える」をテーマに関係機関のかかわり方について
2/12	67 名	「ケースワーカーとつながろう」をテーマにグループディスカッションを実施

「障害がある方の生活を支える」では、区 CW、自アシ、学校、あんしんセンターによる事例など関係機関の連携についての講義を行いました。

「ケースワーカーとつながろう」では、区役所の方に協力して頂きグループワークを行いました。

### ○しゃべる～む

現在、6、7名の方が定期的に利用され、年間60件を超える利用となっています。また、1月に行われるカラオケ大会も定例化され、参加者も楽しまれています。他に区作連などと連携して「地域支え合い研修」の運営も行いました。

### ○自立支援協議会

35の事業所の協力のもと各部会を行いました。幾つかの部会では交流会を行い、情報交換や同じ立場通しが集まり普段話せない事など話を出来るような場を作ったりしました。また各部会とも活発に運営できるように頻度を多くして参加しやすいようにしました。他に防災の研修を取り入れて次年度以降も定期的に行う事となりました。

#### （防災部会）

地域連携分科会では、防災ニュースなど地域に配布したり、自治会向けに出前講座を開催して、少しずつ地域との関係作りに取り組みました。

防災訓練分科会では、近隣のグループホームで合同訓練をしたり、訓練を通じてグループホーム間と地域と交流が持てるように取り組みました。

#### （住居部会）

世話人分科会では、世話人と管理者部門に分けて交流会を行いました。参加者からは続けてほしいと要望もありました。

まちで暮らす分科会では、各事業所で抱えている課題ケースの事例を基に参加者で話し合いました。

#### （移動・送迎部会）

横浜市では通学・通所支援が始まり、各事業所との関係作りを目的に移動支援事業所に声

を掛けて交流会を行いました。また今年1月から移動情報センターが開設され、同様な取り組みが行われている事から次年度では、移動情報センターに部会を移行する方向となりました。

(情報部会)

事例検討分科会では、各事業所より持ち寄ったケースを基にグループで話し合いました。

発信分科会では、ホームページの運営を行い事業所からの情報収集や地域の方に知ってもらう為に広報活動を行いました。

(当事者部会)

区役所のロビーを使った自主製品販売を行い、月1回「販売促進会議」を行いました。

カラオケ大会では、当事者の方にも当日の準備をして頂きながら行う事が出来ました。

(こども部会)

フレンドサポート実行委員会で障害児余暇の取り組みをしました。

また事例は、当事者の父親にも参加頂きながら各小中学校との交流を図る事が出来ました。

## ○計画相談

昨年11月から職員を配置して、ゆめを利用されている成人の方を中心に月2.3名ずつ取り組みました。また3月からは児童の計画も開始しました。

他に区内の計画相談事業所に呼びかけ、区役所と定期的に会議をもち、課題などについて話し合いました。

## 1-4 事故・ひやりハット・苦情クレーム報告について

事故・ひやりハット・苦情クレーム別の件数

(平成26年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故	4	7	5	5	6	6	3	2	3	1	1	6	49
ひやり	4	8	13	19	8	8	14	20	19	9	7	6	135
苦情	3	3	0	4	0	0	0	0	1	1	1	0	13
合計	11	18	18	28	14	14	17	22	23	11	9	12	197

24年度実績 総数 166 件

事故 43 件 ひやりはっと 111 件 苦情クレーム 12 件

昨年に引き続き、リスクマネジメントの観点から、月間目標を設定しました。

月間目標

4月: 摂食支援に配慮する(誤飲、誤嚥に注意する)

5月: 守秘義務の徹底、個人情報の取り扱いに注意する

- 6月:自傷や他害などの特異行動に配慮する
- 7月:転倒・転落を防止する
- 8月:摂食障害への配慮・誤嚥の予防
- 9月:送迎調整漏れに留意する
- 10月:利用者権利の尊重、権利侵害への一層の配慮
- 11月:転倒・転落を防止する
- 12月:送迎の安全
- 1月:摂食支援(誤飲・誤嚥注意)
- 2月:連絡調整ミスに留意する
- 3月:転倒・転落の予防の徹底

① 事故報告事例 (49 件)

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

転倒	5	移乗の際の転倒、立ち上がり時の転倒、自転車での転倒、活動中の転倒
転落	1	歩行中の段差からの転落
誤飲	1	装飾品の誤飲
自傷	1	自傷による手指の負傷
暴力	1	不安定時の他害行為
交通違反	5	携帯電話使用等違反、車両の接触事故
その他	35	送迎関係(車両故障、送迎の遅れ)5件 医療関係(服薬時間のミス、服薬漏れ)4件 職員対応(把握ミスによる利用者の負傷、利用者荷物の忘れ物、貴重品の返却忘れ等、外出時の把握漏れ)4件 事務処理(請求金額の誤り、書類の紛失、利用料の二重請求)4件 物品破損(ドアレール、車両フロントガラス、利用者私物(眼鏡)、デジタルカメラ、ミキサー、眼鏡、公共の展示物、テレビ)7件 その他(パニック状態による負傷、鍵の紛失、車椅子のタイヤパンク、自主製品の内容の不備、右手の腫れに伴う受診、介助具の紛失、活動中の受傷、業務中の職員の怪我、事故対応の不備、インターネットメールのトラブル)11件

25 年度は1年を通して、横浜市へ報告した事例はありませんでした。車両の接触事故や交通違反などが5件、服薬に関する事例が4件ありました。

② ひやり・ハット事例 (135 件)

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

転倒	28	着席の際の転倒、発作による転倒、歩行中の転倒、入浴時の転倒、トイレでの転倒、移乗時の転倒、職員・利用者との接触による転倒、段差での転倒、リラクチェアからの転倒、車椅子の転倒
転落	6	ストレッチャーからの転落、車両座席からの転落、椅子からの転落、遊具から着地の際の転倒、シャワーチェアからの転落
食事トラブル	2	アレルギー食の提供等
誤飲	3	ボールペン、粉石鹼の誤食、消毒中の歯ブラシの使用
自傷	1	抑制具の未装着による自傷行為
暴力	7	職員への噛みつき行為、一般の児童への他害、他児への暴力
無断外出	3	ゆめ館内での把握漏れ、活動中の把握漏れ、活動中の無断外出
個人情報	2	ケース記録の記入漏れ、書類の紛失
その他	83	職員対応(貴重品の返却忘れ・荷物の返却忘れ、荷物の入れ間違い、介助具の管理不備、靴の履き替え忘れ、引き継ぎミス、支援中の対応等)27件 送迎関係(送迎漏れ、送迎ミス、車両故障、送迎連絡漏れ、腕の挟み込み、走行中のドア開閉)12件 医療関係(服薬の時間間違い、服薬後の薬袋の入れ間違い、服薬漏れ等)6件 食事関係(食事注文漏れ、食数誤発注)2件 活動中の受傷3件、利用者間の接触3件、一般の方との接触2件、把握漏れ5件、事務処理ミス4件、物投げ8件、物品破損2件、車椅子ロックの不備2件、その他7件

ひやり・ハットの事例を種類別にすると、転倒が上半期で12件、下半期で16件、計28件のにのぼりました。またボールペンや粉石鹼を口に入れたという事例もありました。これらの中には怪我や誤飲等、大きな事故になりえる事例もあり、一層の配慮が必要と思われます。利用者の状態の把握に努め、一人ひとりに合わせて対応をしていきます。

### ③ 苦情・クレーム事例 (13件)

(平成26年3月31日現在)

紛失	1	傘の紛失
運営・管理	2	請求書の送付間違い、利用料の処理漏れ
職員対応	6	駐車場での対応について、電話対応について、利用料未払いの確認の件など
個人情報	1	個人情報の取り扱いについて

その他	3	送迎時の依頼不履行、送迎車の運転について、車両の駐車位置について
-----	---	----------------------------------

電話対応等、職員対応に関するご意見が6件、車両に関するご意見が3件ありました。

## 1-5 研修への取り組みについて

### 研修受講関係の一覧表

研修月	研修内容や主なテーマ	参加者数	備考
4	新採用研修(内部研修)	6	
5	安全運転管理者法定講習	1	
	障害福祉入門研修会①	3	
	障害福祉入門研修会②	4	
	新任職員人権研修	2	
	食品衛生管理者講習	1	
6	小児訪問看護・重心障害児看護研修会①	1	
	障害福祉入門研修会③	4	
	障害福祉入門研修会④	4	
	障害福祉入門研修会⑤	4	
	算定基礎届事務説明会	1	
	ボランティアコーディネーター研修	1	
7	小児訪問看護・重心障害児看護研修会②	1	
	横浜市移動支援従事者サービス提供責任者研修	1	
	「福祉施設等における権利擁護を考える」研修	3	
	地域支え合い研修「障害のある方の生活を支える」	5	
	年金共済事業説明会	1	
	障害者の咀嚼嚥下についての研修会	2	
	小規模社会福祉施設関係者(一人宿直)に対する防火・防災安全研修会	2	
	ヨッテクシンポジウム	3	
8	7区運営法人合同サポーター研修①	5	
	7区運営法人合同サポーター研修②	5	
	7区運営法人合同サポーター研修③	5	
	支援センター研修	8	

	児童精神科の門をたたく子どもたち	2	
	学校・施設・家庭でできるリズム運動療法	1	
	「くらす・たのしむ・はたらく」を支えるキャリア教育	2	
	子どもが見えると見えてくるもの	2	
9	小児訪問看護・重心障害児看護研修会③	1	
	小児訪問看護・重心障害児看護研修会④	1	
	お金の管理とお金に係るトラブル事例の研修	1	
	自宅で療養している方・地域・支援者のための研修 「あっ！地震 その時に困らない！今できる備え」	2	
	平成 25 年度神奈川県障害者相談支援従事者初任者 研修(横浜市)	3	
10 月	指定障害福祉サービス集団指導	2	
	移動支援事業 現任者研修	1	
	発達障害者相談基礎研修	1	
	パサパネット勉強会	2	
11 月	サービス管理者研修	2	
	移動支援事業 サービス提供責任者研修	1	
	広汎性発達障害児者の理解と支援について	2	
	高齢期の知的障害のある方への関わり	1	
	知的・発達障害の方の行動・生活へのサポート	1	
	相談支援の充実(サービス利用計画)に係る情報交換	1	
	後見的支援室 ゆめあん活動報告会	3	
12 月	高次脳機能障害セミナー	1	
	精神障害の方の関わり	1	
	活動ホーム 看護師連絡会	1	
1 月	障害がある方の性と支援	1	
	強度行動障害者支援者養成研修	7	
	相談支援従事者現任研修	2	
	自閉症・行動障害への理解を深める	1	
	相談支援従事者スキルアップ研修	1	
	ガイドヘルパースキルアップ研修	1	

	広汎性発達障害のある方との関わり	1	
2月	地域支え合い研修「ケースワーカーとつながろう」	7	
3月	活動ホーム合同研修	7	
	障害がある人たちが豊かな人生を送る為に	1	
	自立支援協議会 防災研修	2	

24年度実績 テーマ別 67件 参加者延べ 183人

25年度は1年を通して、テーマ別で57件、延べ138人の職員が研修に参加しました。

4月は、新人職員を対象に新採用研修を実施、外部の人権研修などに参加しました。

中堅職員については、発達障害や強度行動障害などの研修に参加し、それぞれの障害特性に対する理解を深めました。

## 2 生活介護事業

### (1) 生活介護契約数

(平成26年3月31日現在)

契約数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	増減
身体障害	55	55	54	54	54	55	55	55	55	55	55	55	0
知的障害	89	89	88	88	89	89	89	89	89	89	88	87	-2
精神障害	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0
計	147	147	145	145	146	147	147	147	147	147	146	145	-2

平成24年度実績 身体障害者 55件 知的障害者 87件 精神障害者 3件 計 145件

### (2) 生活介護利用実績

(平成26年3月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	27	25	26	28	26	25	28	24	25	25	23	26	308
身体障害	346	357	347	379	338	320	363	339	321	321	297	341	4069
知的障害	572	548	530	593	543	517	556	508	527	525	462	509	6390
精神障害	16	19	16	17	17	15	14	11	15	15	16	8	179
計	934	924	893	989	898	852	933	858	863	861	775	858	10638

平成24年度実績 稼働日数 314日

身体障害者 4,115件 知的障害者 6,205件 精神障害者 272件 計 10,592件

## (3) 生活介護／曜日別契約数

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

曜日別数	月	火	水	木	金	第1土	第2土	第3土	第4土	第1日	第3日	総契約数 (週単)
身体障害	21	21	15	15	17	5	6	6	7	3	4	120
知的障害	23	25	24	27	28	26	25	26	25	16	17	262
精神障害	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
計	44	46	41	44	45	31	31	33	32	19	21	<b>386</b>
24年度末	45	48	40	43	46	29	31	30	32	19	20	385

## (4) 生活介護／送迎サービス延利用実績

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
身障	639	647	637	695	619	589	676	630	600	592	551	624	7499
知的	639	605	606	661	593	601	635	563	589	597	502	561	7152
精神	32	38	32	34	33	30	28	22	30	29	32	16	356
計	1310	1290	1275	1390	1245	1220	1339	1215	1219	1218	1085	1201	<b>15007</b>

平成 24 年度実績

身体障害者 7,564 件 知的障害者 7,583 件 精神障害者 533 件 計 15,680 件

## (5) 生活介護／入浴サービス延利用実績

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
身体障害	72	66	67	76	68	57	74	70	61	63	56	66	796
知的障害	9	9	9	10	8	10	9	8	8	8	7	7	102
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	81	75	76	86	76	67	83	78	69	71	63	73	<b>898</b>

平成 24 年度実績

身体障害者 804 件 知的障害者 101 件 精神障害者 0 件 計 905 件

生活介護について

平成 25 年度当初は 2 名の学校卒業者を迎え、加えて 8 月に週末 1 名、9 月に週間 1 名の方が

新規に利用を開始されました。また年度内、転居の事由で2名、他施設移行で3名、2月には週末のご利用者が亡くなられたため契約を解約され、計6名の方が利用を終了されています。職員体制については依然、ご利用者との配置で2:1を継続しています。

活動内容については、継続してレクリエーションやリラクゼーション、リハビリテーションにつながる支援のほか、自主製品の受注作業、内職受託作業が工賃対象作業としてユニット定着しています。一昨年度から支給金体系の変更にて、「年度末調整金」として4月、「出席別支給金」は7月と1月に分けて年度2回、「作業配当支給金」では4月、7月、10月、1月の年度4回支給させていただきました。

週末の余暇プログラムについては、昨年度変更にて導入させていただいた第2土曜日「音楽いっぱいコンサート」が年度を通して順調に定例化しており好評いただいております。

サービス内容の取り組みについては、リスクマネジメントを報告からの対処方法確認、周知として徹底を図り、また対象ご利用者個別の支援、介護法に関しては、内部研修として行なうことができました。

再契約の件につきましては、法律の改定に伴ない、関係書類(契約書・重要事項説明書・運営規定)を新たに作成し、上期中に対象者全員の手続きを行なうことができます。

当年度欠席が続いたご利用者については、前年度からの経過も認められており、通所の再開と併せて、契約変更または解約希望の確認等、調整を働き掛けました。結果週末利用に変更された方、相談支援による在宅調整にて継続される方他、利用日数の変更にて継続される方、結果解約に応じられる方はいませんでした。次年度、対象者については敢えてルーム配置を行わず、来所時での活動調整とさせていただく方向です。

送迎サービスは週間で、依然9割以上の方が利用、活動時間内の送迎にかかる時間も年々増えています。

入浴サービスについては、安全で安定した提供の確保を図る目的と、利用ニーズの調整もあって、ご利用件数は前年度と大きく変わりませんでした。

週末の余暇プログラムについては、引き続き契約指導員やボランティアの導入にて、プログラム内容を継続して運用しています。末日契約者数145名内、週末のみのご利用者64名、週間併用ご利用者9名を加えると約半数である状況は変わっていません。

当年度は、上期のご利用件数が前年同時期を上回る実績となり、月平均900件以上、日単平均34名を超えることができました。下期は、感染症による欠席者拡大や荒天大雪による実質閉館の影響もあって月平均858件と900件を割り込みましたが、平均では34名を維持できました。**年間を通しますと計10638件、平均34名と年度計画を上まわる結果にはなりましたが**、引き続き地域に於ける施設特性を生かした社会的責任を重く受け止め、さらにご利用を希望していただける福祉サービスの提供を、他のサービス事業とも連携を図りながら目指してまいります。

## ■ ルーム別の活動について ■

### (1) デイルーム1について

ご利用者の変動はありませんでした。活動は ADL 的支援に加え、外気浴やウォーキング、リハビリテーション、リラクゼーション提供の個別プログラムが定着しており、作業的取り組みは練習段階にとどまっています。レクリエーションについては、週単、月例と併せて実施。上半期の外出は「パシフィコ横浜」へ「冷凍マンモス YUKA」の見学に、下半期はお台場の「ダイバーシティ」を企画、初回実施の後、荒天や事故渋滞が続き目的地変更、「ワールドポーターズ」、「海ほたる」と3回が其々行き先を変えての実施となりました。

### (2) デイルーム2について

利用に関しては 9 月になって、他施設併用にて週1日利用の方が1名加わりました。デイルーム4(以下D4)との合同にて選択性を続けています。活動内容としては、引き続き自主製品作成や園芸・お菓子作り、月間として運動プログラムを企画、水曜日の午後は定例の「DVD 鑑賞会」を行なっています。外出企画については D4ユニットとの合同にて、春は「コレットマーレ」で昼食を、「ランドマークタワー」の展望フロアを楽しみました。秋は D1 ユニットと同じく「冷凍マンモス YUKA」の見学に加え、新しい商業施設「MARK IS」に出掛けました。

### (3) デイルーム3について

かわらず、週単利用の知的、精神、発達障がいのある方、授産的な取り組みへの参加希望の方が対象にて、新規「保土ヶ谷養護学校」卒業生1名、「みどり養護学校」卒業生1名の計2名が加わりました。授産的な取り組みはかわらず「ガスメーターの解体」と「ボールペンの組み立て」、その他「ウォーキング」「誕生会」「ドライブ」等の楽しみを加えて活動しています。作業については好評であった「ガスメーター」の搬入が減った状況があり、新たな解体作業品目の開拓を行なっています。上半期の外出は「新幹線に乗って東京駅へ」と「ラーメン博物館+ラポール」の選択企画、下半期も同じく「新幹線に乗って東京駅へ」と「中華街で中華バイキング」選択企画にて、其々3グループに分かれて出掛けています。「新幹線企画」が好評であった為、希望者には2回に分かれて参加していただき、その他企画も結果、好評でした。

### (4) デイルーム4について

ご利用者は、知的、身体、精神の他、発達等に障がいのある方で、受注製品の作成等授産的な取り組みへの参加希望のある方が、当年度も主たる対象となりました。かわらずデイルーム2(以下 D2)との連携にてプログラムを選択していただきました。年間を通して新規にご利用者は

加わっていません。授産的な取り組みはかわらず、自主製品（デコパージュ石鹸・入浴剤等）の生産及び内職製品（ボールペン組み立て）の受託にて、全期通して比較的安定した収益を確保できました。

#### (5) 週末余暇プログラム

引き続き、週間に他施設や職場で授産・就労活動を行なっている方を多く、余暇支援を目的とした活動プログラムを提供させていただきました。当年度も土曜は第4週まで、日曜は第1、3週のみ開館にて、午前中は「お菓子・ランチ作り」から「アートワーク」、午後には「ダンスワーク」「ポートローイング」「カラオケ」「DVD鑑賞」に加えて「リラクゼーション」とかわらずに、第2土曜日については「音楽いっぱい」コンサートを定例開催できました。年度途中から、新規ご契約にて1名の方が第3日曜日に利用を開始されました。

障がいの多様化、重度化に対しましては、当日プログラムとして、引き続きリラクゼーション、レクリエーション枠の拡大によるADL的支援にて対応を図ってまいりましたが、今後については、ある程度余暇プログラムに併せた、ニーズ把握による調整が必要と考えています。

### 3 地域活動支援センターデイサービス型(以下デイ型)事業

#### (1) デイサービス型契約数

(平成26年3月31日現在)

契約数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	増減
身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	-1
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	-1

平成24年度末 契約数 知的障害者 12件

## (2) デイ型曜日別契約数

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

曜日別契約数	月	火	水	木	金	第一土曜	第二土曜	第三土曜	第四土曜	第一日曜	第三日曜	契約総数 (週単)
身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	7	7	6	7	8	0	0	1	0	1	1	38
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	7	6	7	8	0	0	1	0	1	1	38
24年度末契約数	月	火	水	木	金	第一土曜	第二土曜	第三土曜	第四土曜	第一日曜	第三日曜	総数 (週単)
	8	8	7	8	9	0	0	0	1	1	1	43

## (2) デイ型利用実績

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

契約数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	144	132	136	145	135	116	131	117	128	107	117	115	1523
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	144	132	136	145	135	116	131	117	128	107	117	115	1523

## 平成 24 年度実績

身体障害者 0 件 知的障害者 1,451 件 精神障害者 0 件 計 1,451 件

地域活動支援センター(デイサービス型)について

活動は引き続き、清掃班と喫茶班に分かれたプログラムでした。4月末に1名の方が他の「就労継続 B 型」の事業所に移行され契約を解約されました。また在籍内、引き続き2名の方は、週末プログラムをご利用の方になります。

週間活動、清掃班は「ゆめ」館内及び周辺地域公園清掃及び車輛清掃で定例化、加えて月曜日(第2休館)午前中には「保土ヶ谷スポーツセンター」の館内清掃が加わりました。喫茶班は「ゆめ喫茶」として、週間月～金曜での喫茶、ランチ食提供を行ない、来客数は少しずつですが確実に増えています。9月には地域自治会からの多量発注であった定例の敬老会景品(自主製品)についても無事納品させていただきました。その他年間通して地域の催しに参加、5月には保土ヶ谷「花フェスタ」7月は「ひかりの園バザー」に、9月「神戸町祭り」10月は「保土ヶ谷区民祭り」と

「同愛会まんまるフェスタ」、さらに 11 月「鴨居祭り」と販売ブースを確保して、収益活動と併せて地域交流を図りました。「おもちゃ文庫」の企画行事には利用者メンバーもスタッフとして参加しています。その他、生活介護ユニットへの施設内作業実習も行なっており、利用者メンバーの体験と可能性を確認する機会となりました。

上半期については毎月 130 件を超える利用件数になりましたが、下半期は契約メンバーの事故による受傷や体調不良、療養も重なり、平均 119 件に止まってしまいました。契約メンバーの体調管理やメンタルサポートもできる範囲で行なわせていただき、安定的な利用を目指して、実績を確保してゆきます。

「ゆめ」の「地域活動支援センター(デイサービス型)」は、就業と社会参加機会提供の中間的役割を担いつつ、次年度も、ご利用者が目的意識を持ってより充実した生活を営むことができるよう、寄り添う姿勢を持って活動支援を行なってまいります。

## 4 生活支援(一時ケア、ショートステイ)事業

(1)一時ケア利用実績

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
～2時間	38	49	42	50	20	29	40	28	32	19	20	27	394
～4時間	67	68	76	58	43	65	74	66	57	53	45	58	730
～6時間	49	16	37	55	52	26	30	27	35	32	34	49	442
～8時間	18	8	14	30	22	12	12	13	20	10	9	22	190
～10時間	5	6	5	10	26	5	8	1	8	3	3	9	89
10時間～	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2	6
18歳未満	143	104	132	148	118	103	124	101	115	97	90	127	1402
18歳以上	34	44	42	55	45	35	40	34	38	20	22	40	449
延べ件数	177	148	174	203	163	138	164	135	153	117	112	167	1851
延べ時間	602	425	541	751	738	452.5	531	432.5	562.5	405.5	397	656	6494
平均時間	3.4	2.8	3.1	3.7	4.5	3.3	3.2	3.2	3.7	3.5	3.5	3.9	3.5

平成 24 年度実績 述べ件数 2239 件 (18 才未満 1814 件、18 才以上 425 件)

述べ時間 7539 時間 平均利用時間 3.4 時間

## (2) ショートステイ利用実績

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18歳以上	18	37	30	27	24	24	35	22	25	16	17	32	307
18歳未満	2	8	7	16	10	5	8	13	6	5	5	10	95
利用者数	20	45	37	43	34	29	43	35	31	21	22	42	402
連泊1泊	17	39	33	40	31	26	38	32	26	20	22	40	364
2泊	3	6	4	3	3	3	5	3	5	1	0	2	38
3泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4泊以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ泊数	23	51	41	46	37	32	48	38	36	22	22	44	440

平成 24 年度実績 利用者数 326 件(18 才未満 67 件、18 才以上 259 件)

述べ泊数 369 泊/人

生活支援(一時ケア及びショートステイ事業)について(1) 一時ケア

一時ケアは前年比マイナス 388 件、マイナス 1,045 時間と大幅に減少しました。減少した理由として挙げられるのが、放課後等デイサービス事業所等の増加です。以前にも法人内放課後等デイサービス等が始まった際に減少した年度がありましたが、ここ 1~2 年での急激な事業所の増加により影響を受けた形となりました。放課後等デイサービスは曜日契約ができますが、その都度の予約で場合によってはお受けできない可能性もある一時ケアよりも利用の確実性があるのは確かで、共働き世帯が増加している中、確実に利用できるサービスを選択されるのは仕方ないことかもしれません。このように急激な状況の変化がある中、地域活動ホームの一時ケアの役割を改めて認識する機会と捉え、緊急ケースや対応が難しい方の利用に柔軟に対応できるよう、他機関との連携も含めて改めて考えていかなければならないと思います。

また、居住区別では、保土ヶ谷区 75.6%、次いで戸塚区 8.3%、旭区 5.5%、西区 5.2%、男女比は男性 62.0%、女性 38.0%と例年通りで推移しましたが、年齢割合で変化が見られています。例年 2 割を切っていた 18 歳以上の方の割合が 24.3%と前年度より 5%以上上昇しています。理由としては、一時ケアの総数は減少している中、児童期に利用されていた方の週末の利用が増えてきているためです。平日は作業所等で活動されていますが、ご本人の障害特性や体格等で週末にご家族で対応することが難しくなっている方もいるため、生活支援事業としてどのように対応していくか考えていく課題の一つとなり始めています。

(2) ショートステイ

一時ケアとは対照的に、ショートステイは 2 年連続で前年比を上回り、ゆめ開所以来初めて年

間 400 泊を超えました(前年比プラス 71 泊)。その中で、ショートステイが必要な方へお声かけをして利用していただいた方が、延べ泊数の 33%にあたる 145 泊となりました。泊数が伸びた理由としては、先に述べましたお声かけをしての利用は勿論のこと、宿直体制で同日に男女の職員が泊まれる日を増やすことで、予約が入った際にお断りすることを少なくできたことも泊数増加につながりました。

今後も泊数増加に努めていくとともに、利用される方の障害特性に配慮して丁寧に受け入れていきます。

## 5 おもちゃ文庫事業

### おもちゃ文庫利用実績

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	19	20	244
児童	49	102	79	107	44	77	84	101	87	126	99	138	1093
保護者	39	92	73	96	41	71	75	85	73	99	83	103	930
その他(児童)	37	7	0	0	31	12	2	2	0	6	2	23	122
その他(保護者)	24	5	0	0	30	6	2	1	0	3	1	14	86
計	149	206	152	203	146	166	163	189	160	234	185	278	2231

### 平成 24 年度実績

日数 244 日、児童 1,339 人、保護者 1,075 人、その他児童 232 人、その他保護者 179 人  
計 2,825 件

5月では、おもちゃ文庫企画「みんなでペタペタ こいのぼりを作ろう！」(子ども6名、保護者6名)7月では「おもちゃ文庫ミニプールで水遊び」(子ども14名、保護者14名)を3日間で企画して実施しました。

下半期は、12月に「みんなでクリスマスカード&どかどかクツを作ろう」(子ども15名、保護者15名)を行いました。また、2月には「ゆらゆらひな飾りを作ろう」(子ども7名、保護者7名)を行いました。

利用実績は減ってしまったが、企画の参加は多くの方の協力で楽しんでいただけました。

## 6 地域交流事業

(1)地域交流室貸出利用実績

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用件数	79	77	73	75	49	48	58	56	48	69	68	88	788
利用者数	324	356	357	432	209	256	278	305	198	319	384	455	3873

平成 24 年度実績 利用件数 775 件 利用者数 3,922 人

(2)地域交流行事参加実績

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

地域イベント・バザーなどへの参加状況			
日時	場 所	内 容 ・ 説 明	備 考
5 月	ほ도가やへそ公園	ほ도가や花フェスタ	スーパーボールすくい
5 月	横浜船員保険病院	看護フェスティバル	自主製品販売
7 月	ひかりの園	ひかりの園夏まつり	自主製品販売
9 月	神戸町第二公園	神戸町まつり	スーパーボールすくい 自主製品販売
10 月	ほ도가や公園	ほ도가や区民まつり	スーパーボールすくい
10 月	てらん広場上菅田地域ケアプラザ	まんまるフェスタ	スーパーボールすくい
11 月	鴨居小学校	鴨居福祉まつり	焼き芋
12 月	ほ도가や地域活動ホームゆめ	クリスマスロックコンサート	2F食堂・ボランティアコーナー
1 月	ほ도가や地域活動ホームゆめ	もちつき&ゆめバザー	自主製品販売他
3 月	天王町商店街表門通り	保土ヶ谷絆バザール	H26 年震災復興イベント

25年度より船員保険病院で行われた看護フェスティバルに授産製品販売目的にバザー参加した。同一日に花フェスタが行われており、職員を動員して2カ所に派遣して行った。

授産品の販売のほかは、スーパーボールすくいのゲームを持ち込んでの参加となった。いづれもデイサービス型利用者の参加協力のもとに行われている。

下半期からバザー時期に入り定例で参加させていただいている「まんまるフェスタ」をはじめ3回目の参加となった「保土ヶ谷絆バザール」では、人気の高いスーパーボールすくいで出店し多くの方に楽しんでいただけました。

また、クリスマスコンサートでは、ジャズコンサートからロックンロールコンサートに変えて参加人数が心配されましたがアンコールが出るほど盛大に終えることができました。

## 7 余暇活動及びフレンドサポート事業(区づくり事業)事業

(1)余暇活動利用実績

(平成26年3月31日現在)

余暇活動支援内容			
日時	場 所	対象	利用人数
H25.5/12(日)	原鉄道模型博物館①	児童	5名
5/26(日)	はまぎんこども宇宙科学館	児童	5名
6/9(日)	原鉄道模型博物館②	児童	5名
6/23(日)	萬珍楼ランチ①	成人	5名
7/14(日)	萬珍楼ランチ②	成人	5名
8/7(水)	ゆめであいましょう 2013 夏①	未就学～小2	4名
8/8(木)	ゆめであいましょう 2013 夏②	小3～中1	6名
8/9(金)	ゆめであいましょう 2013 夏③	中2～高3	6名
9/8(日)	海ほたる①	成人	5名
9/22(日)	海ほたる②	成人	5名
10/13(日)	人形の家&マリインタワー①	児童	5名
10/27(日)	人形の家&マリインタワー②	児童	5名
11/10(日)	金沢動物園①	児童	4名
11/24(日)	金沢動物園②	児童	4名
12/8(日)	クリスマス会	児童	7名
H26.2/23(日)	アド・ミュージアム②	成人	5名
3/9(日)	アド・ミュージアム①	成人	5名
3/26(水)	ゆめであいましょう 2014 春①	児童	6名
3/27(木)	ゆめであいましょう 2014 春②	児童	6名
3/28(金)	ゆめであいましょう 2014 春③	児童	6名
計	20回		104名

平成24年度実績 計25回実施、参加者数120名

※2/9(日)に予定されていた成人余暇『アド・ミュージアム①』は、雪のため3/9(日)に変更して行いました。

## (2)フレンドサポート(ダンスワーク)利用実績

(平成26年3月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平日コース	8	9	8	7	6	7	7	5	7	7	8	7	86
休日コース	9	9	8	7	7	6	10	7	9	7	5	6	90
利用総数	17	18	16	14	13	13	17	12	16	14	13	13	176

平成24年度実績 平日コース12回 80名、休日コース12回 83名 計163名

## (3)音楽いっぱい利用実績(10月より開始)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用数							7	5	8	8	10	10	48

余暇活動及びフレンドサポート事業

## (1)余暇活動事業について

平成25年度は計20回の活動を行いました(児童14回、成人6回)。外出企画は横浜市内の企画を中心に、海ほたるやアド・ミュージアム東京などの市外への企画も行いました。

原鉄道模型博物館では、ジオラマの鉄道を集中して見ているお子さんがいたり、恒例の『ゆめであいましょう』では、夏は流しそうめん・水遊び、春はピザ作りを行い楽しまれていました。

また、ボランティアについては、『ゆめであいましょう』を中心に参加していただくことができました。学生や社会人の方が多いため、なかなか定着までは難しいですが、参加された方へのお誘いや、ホームページ、ボランティアセンター、学校等への案内を行い参加に繋げていきたいと思っております。

## (2)保土ヶ谷区学齢障がい児フレンドサポート事業『児童ダンスワーク』について

平成25年度は、平日コース10名、休日コース11名で行いました。参加児童の学校別内訳は、保土ヶ谷養護学校9名、上菅田特別支援学校3名、仏向小学校2名、常盤台小学校2名、三ツ境養護学校1名、保土ヶ谷中学校1名、桜台小学校1名、岩崎小学校1名、帷子小学校1名となっています。

学校から自力で来られたり、学校送迎の時間からゆめの一時ケアを利用して活動に参加されたりと、毎回来られるのを楽しみにされている様子でした。中でも、高校3年生の方で最後の回(3月)に参加された児童の方や保護者の方からは、次年度から参加できないことをとても残念がってくださったりと、少しの時間ではありますが放課後、休日の過ごしのお役に立てていることを

実感する場面もありました。

(3)保土ヶ谷区学齢障がい児フレンドサポート事業『音楽いっぱい』について

平成25年度下半期より新たに『音楽いっぱい』をスタートしました。週末の日中活動で音楽プログラムを行っていただいている講師の方に依頼をして行うことができました。スタート当初は参加児童、講師、職員もどくなるかと不安の中始まりましたが、回数を重ねていく中で参加児童の方から歌いたい曲のリクエストが出てきたり、ハンドベルや鈴等の楽器の演奏も楽しまれていました。児童ダンスワーク同様、放課後の過ごしの一つとして定着していけるよう取り組んでいきます。

参加児童学校内訳…保土ヶ谷養護学校4名、上菅田特別支援学校2名、峰小学校2名、仏向小学校1名、帷子小学校1名、保土ヶ谷小学校1名。

■保土ヶ谷区学齢障がい児フレンドサポート事業実行委員会■

(1)主な参加者

保土ヶ谷区福祉保健センター、上菅田特別支援学校、保土ヶ谷養護学校、  
区社会福祉協議会、あひるの会、ほどがや希望の家、ダンスワーク講師、  
保土ヶ谷区内各地域ケアプラザ、ほどがや地域活動ホームゆめ等

(2)主な議題

保土ヶ谷区障がい児フレンドサポート事業 予算及び取り組み状況  
学校関係者等との情報交換 他

(3)開催状況：

第1回 学齢障がい児フレンドサポート事業実行委員会 平成25年5月15日(水)  
第2回 学齢障がい児フレンドサポート事業実行委員会 平成25年9月18日(水)  
第3回 学齢障がい児フレンドサポート事業実行委員会 平成26年2月19日(水)

## 8 (法人型)地域活動ホーム自主事業

養護学校間等送迎事業(保土ヶ谷養護学校便等)

(平成26年3月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用児童数	77	68	77	55	11	59	73	56	46	52	55	55	684
保土ヶ谷養護学校	38	30	34	21	0	32	36	29	26	21	31	23	321
上菅田特別支援学校	35	32	39	31	10	25	35	25	17	27	20	29	325
その他(個別支援級)	4	6	4	3	1	2	2	2	3	4	4	3	38

平成24年度実績

保土ヶ谷養護学校 441名、上菅田特別支援学校 463名、その他 28名、利用児童数 932名

平成25年度の送迎回数は、平成24年度と比較すると、保土ヶ谷養護学校が約27%(マイナス120名)、上菅田特別支援学校が約30%(マイナス138名)減少しています。

また、総利用児童数についても、平成24年度に比べて約27%(マイナス248名)減少しています。

減少した理由としては、一時ケアでも述べさせていただきましたが、放課後等デイサービス事業所等の増加が影響しているものと思われます。

一時ケア総数に占める学校間送迎の割合は36.9%でした。(平成24年度は41.6%)

## 9 放課後等デイサービス

### (1) ゆめっこくらぶ

月別利用実績

(平成26年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約人数	33	33	33	33	33	33	33	32	32	32	32	32	-
契約のべ人数	231	226	224	240	230	211	241	215	208	207	207	219	2659
利用人数	200	202	188	212	173	190	201	194	185	173	162	195	2275
送迎回数	122	145	138	105	5	141	135	144	121	121	126	96	1399
欠席率(%)	13.4	10.6	16.1	11.7	24.8	10.0	16.6	9.8	11.1	16.4	21.7	11.0	14.4

平成 24 年実績      利用人数      2216 人      送迎回数      1414 回

### 「ゆめっこらぶ」について

平成 25 年度の利用実績(2275 人)は昨年度(2216 人)と比較してほとんど変わらない結果となりました。今年度は高校 3 年生が多く、実習や修学旅行のための欠席が多かった事や大雪による閉鎖やその後の悪路の影響での欠席などが長引いてしまったため利用数の増加が伸び悩んでしまったと云えます。

利用希望においては既にゆめっこらぶと契約していて且つ他事業所を利用している方や新規希望者であっても現状複数事業所を利用している方が多く、早急に必要性を感じられる方はいませんでした。週に 1 回程度での関わりでは支援が難しい面を以前から感じていた為週に 1 回利用の児童を 2 回に増やすと云う形で契約につなげました。支援級に関してはやはり送迎問題が大きな壁となりガイヘルなどを併用しないと難しい現状でした。

ゆめっこらぶは 25 年度より横浜市居場所事業から放課後等デイサービスに事業移行を行なったわけですが、それ以前は一時ケアから居場所に移ってきた歴史もあり本来ゆめっこらぶが設定している営業時間内に収まらない児童が以前から多く契約されており、そのことにより事業移行した現在も変わることなく同じ時間帯で継続利用しています。設立時からゆめっこらぶが設定している時間内での利用に収めようとしてきた理由は療育的観点から 17 時以降の預かりが適切とは思えなかった為でした。そして事業所のルールに乗ってもらいながら利用してもらう事が将来にわたって地域で暮していくために必要と考えてきた事も大きな理由でした。実際、毎日の利用時間が 9 時から 18 時までの成人の通所施設などないわけですから将来を見据え、決められた範囲内で利用して欲しいと考えてきたわけです。今後もご家族と丁寧に話を重ねながら将来につなげられるようにしていければと考えています。

## 2) ゆめことつか

月別利用実績

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
契約人数	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	-
契約のべ人数	235	224	231	247	237	214	242	226	214	214	216	234	2734
のべ利用人数	214	199	211	218	189	201	200	204	195	194	164	206	2395
送迎回数	240	255	271	217	111	256	257	268	229	233	216	230	2783
欠席率(%)	8.9	11.2	8.7	11.7	20.3	6.1	17.4	9.7	8.9	9.3	24.1	12.0	12.4

平成 24 年実績

利用人数      2475 人

送迎回数      2899 回

### 「ゆめことつか」について

25 年度の実績は、25 年度より 80 人減となりました。その背景には、例年よりもインフルエンザでの欠席が多かったことや大雪による閉鎖やそれに伴い道路の雪が原因により家族が学校に

連れていけないことで欠席がいつまでも続くなど例年になく欠席数となってしまいました。そして高校3年生が複数名いた為、実習による欠席が多かったこと等が挙げられます。

平成25年度のゆめっことつかは既存利用者に対する支援の充実を図る1年として考えていたため、契約数は年間を通して変えない形で取り組んできました。これはゆめっことつかの利用児童が放課後等デイサービスの乱立に伴い複数個所を併用して利用する方が増えたことで、環境の変化に弱い利用児童の混乱が見受けられた為、既存の利用者が落ち着けることを優先にしたことが大きな理由でした。実際に契約は増やす事のない1年でしたが、区役所のワーカーや養護学校の教諭などから虐待や不登校など緊急的なケースが舞い込むことが度々ありました。今後はそれらの利用者の受け止めを検討していきたいと思っておりますが、実際は一事業所のできる範囲は限られることもあり、他の事業や施設のサポートを受け、多方面からの支援の必要性を感じています。今後行なわれる計画相談等で利用者、家族にとってよりよい支援方法や利用方法をご家族のニーズと本人の状態を考えながら模索していきたいと考えています。

日々の活動の中では、主に中学生以上の男児の不安定さが目立ち、それに伴い自傷や他害行為が見られ、対応できる職員が限られてしまっていることが浮き彫りになりました。それ以外にも、常勤職員が主に対応する利用者が増加しているように思われます。これらを踏まえ、26年度は新規の受け入れと共に既存の利用者の日数の増加を行なっていきたいと考えています。その中で、職員のスキルアップを図り、より幅広い支援を行なっていけたらと考えています。

### 3)ゆめキッズほどがや

月別利用実績

(平成26年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約人数	29	29	30	30	30	30	30	29	29	30	30	31	-
契約のべ人数	163	170	152	175	164	156	179	156	148	150	152	163	1928
利用人数	149	147	139	153	123	136	150	134	137	140	126	144	1678
送迎回数	285	289	268	293	219	266	288	257	262	267	245	272	3211
欠席率(%)	8.6	13.5	8.6	12.6	25.0	12.8	16.2	14.1	7.4	6.7	17.1	11.7	13.0

平成24年実績

利用人数 1584人

送迎回数 3055回

#### 「ゆめキッズほどがや」について

今年度は年間を通して個別支援級に通われている4名の新規利用受け入れを行うことができました。しかし、学校送迎に対応するに当たり、職員配置や車両に限りがあることからガイドヘルプを利用しての通所や既存の利用者さんと同じ学校、同一下校時間である方が中心の受け入れとなりました。また、来年度以降は既存の利用者さんの学年が上がることによる下校時間の変更の可能性があることから今年度と同じように対応できるかも検討材料のひとつとなります。

平成25年度をもって卒業生が1名及び10月31日付で解約を1名行いました。実績数に関して、年間を通して約100名程度の利用増はあったものの各曜日とも定員に達していないため、前

述の送迎の課題はありますが平成 26 年度に向け各家庭の背景などにも考慮して新たな受け入れを随時検討していきたいと考えています。また、ゆめ相談室からも相談ケースとして希望があることや、既存の方の中からもご家庭の事情により保護者の就労が開始され、長期休暇等のご利用に際して送迎を含む利用の課題が発生するなど、複雑なケースもあることから相談室との連携も必要不可欠なものになると感じています。

新規利用希望の方や既存のご利用者さんの中にも頓服薬を含む服薬が必要なケースも増え、服薬方法や管理方法等を検討しなくてはならない状況が見られるようになりました。これらも支援を行う上で大きな課題になると思います。

今年度は区内に新しい放課後等デイサービスが開所した為、待機されていた方もそちらでの利用を開始され、当事業所の利用に繋がらないケースもありました。また、既存のご利用者の中からも新たに他の事業所を増やし、当事業所と併用利用される方も増え始めた為、利用状況の把握やご本人の様子の変化など留意していかなければならない点が多くなりました。また状況に応じて他事業所との連携、情報共有なども必要になる場合があると思われます。利用者増に伴い、支援会議を通しての職員間での共通認識や課題整理、支援方法等も確認しあい、スキルアップや必要に応じての職員体制の確保を行うことで支援の質の向上を目指していきたいと思ひます。

## 10 移動支援(ガイドヘルプ)事業

(1) 月別利用契約者数

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

契約数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
身体障害	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	10
知的障害	45	46	51	52	52	51	50	52	52	52	52	53
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	57	58	63	64	64	63	61	63	63	63	63	63

平成 24 年度実績 身体 13 件 知的 44 件 精神 0 件 契約数計 57 件

(2) 月別利用人数、障害種別内訳(重複含む)

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

契約数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
身体障害	7	10	9	10	5	6	5	5	5	5	5	6	78
知的障害	34	34	39	41	38	39	41	45	49	47	32	46	486
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	41	44	48	51	43	45	46	50	54	52	37	52	564

平成 24 年度実績 身体 103 件 知的 415 件 精神 0 件 利用件計 491 件

(3) 月別ガイドヘルパー派遣実績

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

契約月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用総件数	63	76	69	73	66	66	69	68	84	88	55	76	853
二人付き派遣	7	10	8	5	3	7	8	8	8	8	8	9	89
グループ支援	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	6
総派遣数	70	86	78	79	70	74	77	76	93	97	63	85	948
述べ時間数	299	309	317.5	355	285	292	285.5	338.5	366.5	340.5	240	354.5	3783.5

平成 24 年度実績 利用件数 872 件 延べ時間 2986 時間

移動支援(ガイドヘルプ)事業について

平成24年度実績から比べると 契約数;110%ご利用時間数;126%と確実に増加、定着してきています。課題としては 契約数やご利用時間が増加していく過程において、サービス提供の核となる登録ヘルパーの確保及び育成が必要です。「ゆめヘルプステーション」の周知と共に月1回開催のヘルパー会において、利用者さんの振り返りと共に 障がいに対する知識や体験などをふまえた勉強会を続けていきます。

## 11 災害備蓄事業(防災避難訓練)

防災関連実施状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

	日時	場所	内容	備考
第1回 消防避難訓練	H25年6月27 日(木)13時 25分~14時 50分	ゆめ及び 神戸町第二 公園	(1)火災通報訓練 (2)夜間宿直避難訓練 (3)消火器操作訓練 (4)消防署員からの講評他	
第1回特別避難場所応 急備蓄物資整備助成 金交付申請、整備	7月申請 10月整備	ゆめ 地下1F倉庫	従来備蓄、緊急時食糧品、保存水等期 日廃棄分補充	

第2回 消防避難訓練	H26年 1月29日(水) 13時20分～ 14時15分	ゆめ及び 神戸町第二 公園	(1)火災通報訓練 (2)日中全体避難訓練 (3)消火器操作訓練 (4)専用テントによる煙体験 (5)消防署員からの講評 他	
---------------	---------------------------------------	---------------------	--	--

### 災害備蓄・消防避難訓練について

上期には定例、第1回目の消防避難訓練を行ないました。従来どおり、法人内全事業所参加の形態にて実施。今回も、夜間想定にて2回に分けてリアルな宿直体制による通報、消火、避難訓練を行ないました。全体ではその様子を見学することで訓練の参加に代えさせていただきます。講評として、昨年度に加えてあらたに、出火想定的重要性、避難の難しさと屋上の活用、誤報対応の指示等をいただきました。

災害時応急備蓄物資の整備につきましては、当施設が区内の特定避難場所でもあることから、今年度も「横浜市健康福祉局」に対して、助成金交付申請を行ない、対象額相当の飲料保存水を整備しています。

下期冬季に行なわれた訓練2回目は日中想定 of 全体避難訓練を行ない、その後参加者には「煙テント」使用による火災時の煙体験を行なっていただきました。講評としては、火災と煙を避けるため、バルコニーからの避難の有効性をご指導いただきました。

以降夏季第1回目を夜間想定 of 宿直体制避難訓練、冬季第2回目を日中全体避難訓練として、冬季次回は「起震車」で、地震体験をしていただく予定です。

## 12 運営委員会事業

運営委員会開催状況

(平成26年3月31日現在)

	日時	場所	内容 ※(案)は省略	備考
第28回 運営委員会	平成25年5月 22日(水)	ほどがや地域活動ホ ームゆめ2F食堂	1. 平成24年度事業活動報告 2. 各委員との情報交換ほか	
第29回 運営委員会	平成25年10月 日(水)	ほどがや地域活動ホ ームゆめ2F食堂	1. 平成25年度上半期活動報告 2. 各委員との情報交換ほか	

第30回 運営委員会	平成26年3月19日 (水)	ほ도가や地域活動ホ ームゆめ2F食堂	1. 平成26年度事業計画 2. 各委員との情報交換ほか	
---------------	-------------------	-----------------------	---------------------------------	--

### 13 社会福祉法人ほ도가や理事会・評議員会

理事会・評議員会開催状況

(平成26年3月31日現在)

	日時	場所	内容 ※(案)は省略	備考
第34回評議員会 第48回理事会	H25年5月 16日(木)	ほ도가や 地域活動 ホーム ゆめ	1. 平成24年度事業報告の件 2. 平成24年度決算の件 3. 監事監査報告の件 4. 理事選任の件他	
第35回評議員会 第49回理事会	H25年11月 21日(木)	ほ도가や 地域活動 ホーム ゆめ	1 平成25年度上半期事業報告の件 2 平成25年度上半期決算報告の件 3 嘱託規定変更の件 4 満足度調査報告その他の件	
第36回評議員会 第50回理事会	H25年11月 21日(木)	ほ도가や 地域活動 ホーム ゆめ	1 平成25年度補正予算の件 2 定款変更の件 3 謝金規定変更の件 4 役員報酬規程変更の件その他	
第37回評議員会 第51回理事会	H26年2月 20日(木)	ほ도가や 地域活動 ホーム ゆめ	1 平成26年度事業計画の件 2 平成26年度予算の件 3 理事・監事・評議員役員改選の件 4 特定資金貸付申請の件その他	
第52回理事会	H26年2月 27日(木)	ほ도가や 地域活動 ホーム ゆめ	1 理事長選任の件 2 常務理事選任の件 3 職務代理者選任の件 4 AED設置の件その他	

## 14 横浜市障害者後見的支援事業ほどがやゆめあん

問い合わせ登録状況

(平成26年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
問い合わせ	3	15	4	3	3	4	4	4	3	3	0	3	268
登録	1	2	2	3	1	0	3	1	4	1	1	2	116
支援計画	4	1	2	0	3	2	1	1	2	2	6	1	96
キーパー	9	8	2	6	1	0	1	2	1	3	2	2	183

※ 月別累計で計上

### ほどがやゆめあんについて

障害者後見的支援室 ほどがやゆめあんは、平成22年10月スタートから4年目に入ります。

問合せは、268件程になりました。

登録者の内訳は、知的54名・肢体13名・精神20名・重複18名・重心3名・発達1・高次脳、機能障害1名・手帳無し2名です。

年齢構成は、10代=2名 20代=22名 30代=33名 40代=29名 50代=19名  
60代=5名となっています。

登録者の暮らしに関しては、在宅で親と同居=90名 GH=14名 単身=6名で9割の方が  
家庭で生活しています。

活動先は、通所=84名 就労=13名 在宅=16名です。サポーターの活動もその方に合わせ  
工夫し取り組んできました。これからも丁寧な関わりを続け、ご本人・ご家族の希望、悩み等を、  
一緒に、考えていきたいと思っています。



発行日 平成26年5月 日

編集者 社会福祉法人ほどがや

ほどがや地域活動ホームゆめ 事務局

〒240-0005 保土ヶ谷区神戸町 140-2

TEL045-340-3360 ファクス 045-334-0462

Email:yume@e-hodogaya.org

URL <http://www.e-hodogaya.org>



	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
公益事業	16	地域生活支援事業(生活支援事業)	保土ヶ谷区神戸町140-2	平成16年11月1日	一時ケア同一時間帯5名、ショートステイ4床
	16	横浜市障害者後見的支援事業	保土ヶ谷区星川	平成22年10月1日	マネジャー、サポーター、担当職員他
1 必要な者に対し、相談、情報提供・助言、行政や福祉・保健・医療サービス事業者等との連絡調整を行う等の事業 2 必要な者に対し、入浴、排せつ、食事、外出時の移動、コミュニケーション、スポーツ・文化的活動、就労、住環境の調整等を支援する事業 3 入浴等の支援が必要な者、独力では住居の確保が困難な者等に対し、住居を提供又は確保する事業 4 日常生活を営むのに支障がある状態の軽減又は悪化の防止に関する事業 5 入所施設からの退院・退所を支援する事業 6 子育て支援に関する事業 7 福祉用具その他の用具又は機器及び住環境に関する情報の収集・整理・提供に関する事業 8 ボランティアの育成に関する事業 9 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業(社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・コミュニケーション支援者等の養成事業等) 10 社会福祉に関する調査研究等 11 事業規模要件を満たさないために社会福祉事業に含まれない事業 12 介護保険法の居宅サービス事業、地域密着型サービス事業、介護予防サービス事業、地域密着型介護予防サービス事業、居宅介護支援事業、介護予防支援事業、介護老人保健施設、地域支援事業を市町村から受託する事業 13 有料老人ホーム 14 社会福祉協議会等において、社会福祉協議会活動等に参加する者の福利厚生を図ることを目的として、宿泊所、保養所、食堂等を経営する事業 15 公益的の事業を行う団体に事務所等として無償又は実費に近い対価で使用させるために会館等を経営する事業 16 その他 ( 生活支援事業、後見的支援事業 )					
	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
収益事業					
1 法人の所有する不動産を活用して行う貸ビル 2 駐車場の経営 3 公共的、公共的施設内の売店の経営 4 その他 ( )					
	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
その他の事業					
1 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免 2 地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施 3 地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施 4 災害時における各種支援活動の実施 5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施 6 他法人との連携による人材育成事業 7 その他 ( )					



	定員	現員											施設整備又は運営と密接に関連する業務を行う者	理事との兼務	職員との兼務	評議員への出席回数			
	13	13	氏名	職業	任期	親族等特殊関係者の有無			理事の親族	資格									
						親族	他の社会福祉法人の役員	その他		社会福祉事業の学識経験者	地域の福祉関係者	地域の代表者					施設長	利用者の家族の代表	その他
評議員	吉田 昌美	社福)ほどがや	26年2月26日～28年2月25日			○			○							○	○		4
	江口 博士	社福)ほどがや	26年2月26日～28年2月25日			○						○				○	○	○	4
	藤野 哲	社福)ほどがや職員	26年2月26日～28年2月25日		○									○		○		○	3
	岩山 みどり	社福)夢21福祉会	26年2月26日～28年2月25日			○					○								4
	影山 太一	社福)偕恵保護者会	26年2月26日～28年2月25日			○						○							4
	加藤 貴行	社福)紡 職員	26年2月26日～28年2月25日			○					○								4
	浜走 弘之	社福)光風会	26年2月26日～28年2月25日		○						○								4
	篠田 裕	NPO)きてん利用者	26年2月26日～28年2月25日			○							○						4
	鈴木 裕	上菅田特別支援学校	26年2月26日～28年2月25日			○				○									3
	田口 圭子	たちばな会役員	26年2月26日～28年2月25日			○							○						4
	大谷 満利子	NPO)FRIEND	26年2月26日～28年2月25日			○							○						3
	荒井 忠	社福)偕恵	26年2月26日～28年2月25日			○					○								4
	伊藤 洋介	社福)幸会	26年2月26日～28年2月25日			○					○								
施設長	施設名		氏名	就任年月日		法令等に定める資格の有無													
	ほどがや地域活動ホームゆめ		江口 博士	平成16年4月1日		有													
職員	常勤専従	常勤兼務		非常勤															
		換算数		換算数															
	法人本部																		
施設	22	10	10	43	19.6														
理事会	開催年月日		出席者数	書面出席者数	監事出席の有無	決議事項													
	平成25年5月16日		6	0	有	平成24年度事業報告、平成24年度決算、監事監査、理事の同意、評議員選任の件他													
	平成25年11月21日		7	0	有	平成25年度上半期事業報告、平成25年度上半期決算、嘱託規定変更の件他													
	平成26年1月16日		8	0	有	平成25年度補正予算、定款変更、謝金規定変更、役員報酬規程変更の件他													
	平成26年2月20日		8	0	有	平成26年度事業計画、平成26年度予算、理事の同意、評議員選任の件他													
平成26年2月27日		6	0	有	理事長の選任、常務理事の選任、職務代理者の選任														
評議員会	開催年月日		出席者数	監事出席の有無	決議事項														
	平成25年5月16日		13	有	平成24年度事業報告、平成24年度決算、監事監査、理事の選任の件他														
	平成25年11月21日		15	有	平成25年度上半期事業報告、平成25年度上半期決算、嘱託規定変更の件他														
	平成26年1月16日		17	有	平成25年度補正予算、定款変更、謝金規定変更、役員報酬規程変更の件他														
平成26年2月20日		17	有	平成26年度事業計画、平成26年度予算、理事の選任、監事の選任の件他															
監事監査	監査年月日		監査者	監査報告の有無	指摘事項							改善事項							
	平成25年5月14日		荒井、望月	有	特になし							特になし							

IV 資産管理

平成 26 年3月31日現在

不動産 の所有 状況	所在地	面積	評価額(千円)	担保提供の状況				
				提供年月日	借入額(千円)	借入先	償還期限	所轄庁の 承認の有 無
基本 財産	土地							
	建物	横浜市保土ヶ谷区神戸町140-2	1362.76㎡	312392				
運用 財産	土地							
	建物							
公益 事業 用 財産	土地							
	建物							
収益 事業 用 財産	土地							
	建物							

